

大正

あんなものから
こんなものまで
つくっています

- 1 ㊦ゲタ鋼管工業
- 2 大和紙料
- 3 太田鉄工
- 4 児島電機
- 5 クボタ 恩加島事業センター
- 6 近江産業
- 7 サンアグロ 大阪工場
- 8 中山製鋼所

ものづくり

MAP



大阪市大正区

Vol. 3

強くて軽い鉄でニーズに応える
大正のランドマーク。



鉄鋼

工場内の巨大な設備は現在も圧倒的な存在感を示している。



8 中山製鋼所

昭和3年、大正の船町に工場を構えた中山製鋼所(大正8年(1919)創業)。過去には3,000人もの工員が働き、周辺の商店まで人があふれていたという時代もあり、今でもその工場群の圧倒的な存在感で、大正区のランドマークとして広く知られている。

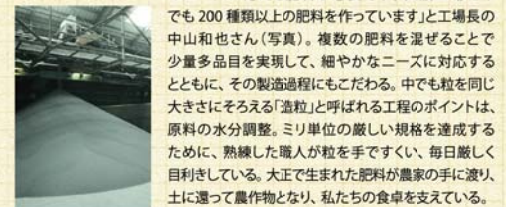
現在、中山製鋼所ではホットコイルや薄板を製造する熱延工場と、棒鋼・線材の鋼材を製造する棒線工場をメインに稼働。梅田スカイビル、名古屋ドームなどの建築をはじめ建設機械・産業機械等の構造物、自動車部品等のあらゆる分野で中山製鋼所の製品が使われている。「中山製鋼所グループは、全国に40ヶ所以上の拠点をもち、多品種・小ロット生産で小回りを効かした迅速な納期対応をしております」と総務人事部長の三好裕さん。さらに、強く加工性にも優れた「NFG」(結晶粒度を微細にした、強くエコな鋼)という世界初の技術も開発。「大河内記念技術賞」など数々の賞を受賞し、各方面から期待されている。

●大正区船町 1-1-66
☎06-6555-3111
<http://www.nakayama-steel.co.jp/>

7 サンアグロ 大阪工場

前 身の会社から数え、間もなく100年目(大正9年(1920)~)を迎えるサンアグロの大阪工場。今も昔も、近くを流れる木津川から原料の積み下ろしを行うなど、大正の地とは密接に関わりを持つ。多様な肥料製造を通じて、日本の農家をはじめ、家庭菜園、ゴルフ場までをサポートしてきた。

「農家の方には、いつでも安定した生産を行ってほしいんです。そのためには環境や季節など、各農家のニーズに応える肥料が必要です。大阪工場だけでも200種類以上の肥料を作っています」と工場長の中山和也さん(写真)。複数の肥料を混ぜることで少量多品目を実現して、細やかなニーズに対応するとともに、その製造過程にもこだわります。中でも粒を同じ大きさにそろえる「造粒」と呼ばれる工程のポイントは、原料の水分調整。ミリ単位の厳しい規格を達成するために、熟練した職人が粒を手でずき、毎日厳しく目利きしている。大正で生まれた肥料が農家の手に渡り、土に還って農作物となり、私たちの食卓を支えている。



肥料の粒は、機械で均等にずき、均等に作物を育てるために、厳しく大きさが揃えられる。

肥料

工場内では作業用のロボットが大活躍。それぞれ「春子」「夏子」「秋子」との名前が。

**食卓を支えるために
つくる肥料は200種以上。**

●大正区船町 1-3-83
☎06-6552-1212
<http://www.sunagro.co.jp/>

子ども どもたちがものづくり体験に夢になる1日。それが「大正ものづくりフェスタ」。フェスタでは区内企業がチームを組んで、「どうすれば子どもたちに「ものづくり」の楽しさや素晴らしさを伝えることができるか?」を、自らが持つ技術や資源を活用しながら真剣に考えています。ものづくりのプロが趣向を凝らした内容に、目を輝かせながら取り組む子どもたちやその様子を微笑ましく見守る親御さんの姿からは、大正区の「ものづくり」の底力が伝わってきます。(毎回約1,000名参加)

大正区のものづくりの魅力をまるごと伝えるこの取組みでは、区民と企業との交流、そして企業どうしの交流の輪がどんどん広がっています。

大正区だからできる、ものづくりの体験と工場見学。



もの づくりの魅力は現場にあり、「大正ものづくりMAP」掲載企業を中心としたさまざまな工場での見学会が好評を得ています。

親子で参加できる「区民向け工場見学会」や、近隣学校の校外学習から全国各地の修学旅行生まで見学・体験に訪れるなど、ものづくりのまち大正区ならではの取組みを行っています。



詳しくは、大正区役所までお問合せください。(06-4394-9942)

「大正ものづくりMAP」▶バックナンバー